

第38期 全国青年ジャンボリー便り Vol.3

第38期全国青年ジャンボリーin岐阜

第3回実行委員会開催しました！

12/8(土)～10(月)@千葉

行動提起 決定！



- 学習テーマ・獲得目標・スローガンについて話し合い
- 運営部と広報部を決めました！

活発な意見交換でたくさんのアイデア！JBへの期待高めた3日間！

2019年10月に岐阜で全国青年ジャンボリーが開催されます！

開催に向けて、12月8日(土)～10日(月)の3日間、第3回実行委員会を千葉・クロスウェーブ船橋で開催し、全国から31名の実行委員と8名の事務局がつどいました。

1日目～2日目は、熱い議論の末に行動提起を決定！その後、学習テーマ・スローガンや本番の3日間の流れなど、企画の骨組みについて話し合いました。最終日は、運営部と広報部のメンバー分けを行い、それぞれの中身について話し合いをスタートしました。

この3日間で、意見を出し合い話し合いを進めることで、実行委員会の方向性を共有することができました。また、具体的な企画について議論を始めたことで、「いよいよスタートするな！」「わくわくしてきた！」「楽しくなりそう！」と、気持ちがより高まってきました！



第3回実行委員会 獲得目標

- ・行動提起を決定し、今期のJB活動の軸になることを意識しよう！
- ・私たちが掴み取りたいものを考え、本番のイメージにつなげよう！
- ・恐れることはない、何でも言い合おう！そしてJBネームで呼び合おう！

1日目

学習企画



<講演>社会保障の充実と税金の使い道

講師：滋賀勤労者保健会専務 藤岡孝之氏

社会保障の歴史から、大企業や富裕層優遇の税制度の仕組みや税金の使い道について学習しました。講演後のSGDでは、現在の税制に対する憤りや疑問の他、税金と社会保障を結び付けて考えることができた等、感想・意見を交流し、学びを深めました。

<行動提起の検討・決定>

1日目～2日目

今後の実行委員会の軸！様々な想いどう込める！？

第2回実行委員会を受けて作成した行動提起の原案を基にSGDと全体討論を行いました。どんなJBにしたいか、そのために実行委員会は何を大切にしたいのか、それぞれの思いを出し合いました。様々な想いをどう文章にするか、熱い議論となりました。

議論の末、行動提起は今後の実行委員会の軸となるものなので、「多くの人が納得できるものにしたい」という想いから、文章はあえてシンプルな表現にし、言葉の中に様々な想いを込めることにしました。

“仲間”と“学び”を大切に、今後に繋がるJBにしたいという実行委員の想いが詰まっています。

行動提起
【一部抜粋】

- なんでも本音で話せる場を作り、仲間の意見を大切にする
- この人たちとつながってみたいと思える仲間づくりや絆づくりを目指す
- JBならではの学びを楽しんで、その学びを広げる
- JBで得たものを今後に活かせるよう、伝え、残す

2日目

<学びのテーマ・獲得目標・スローガン・3日間の流れの検討>

学びについて議論白熱！スローガンはユーモア溢れるアイデアたくさん！

JBの本番で何を学びたいか意見交換しました。人権や憲法、医療など様々な意見が出される中、話題は学習内容に留まらず、“参加者にとって有意義な学びにするためには”といったところまで議論が進んでしまう程、熱量のある話し合いとなりました。

獲得目標では、「学び、楽しみ、つながる」の3本柱が軸となった意見が多く出され、スローガンでは、ユニークなアイデアもたくさん出ました。

事務局で意見を整理し、次回実行委員会で絞りこんでいきます！

どんな学び・目標・スローガンになるか楽しみにしていてください！



3日目 <運営部・広報部にメンバー分け>

本番企画について、各日程の企画・運営の中心となる運営部と、本番までの広報や、グッズ作成などの中心となる広報部に分かれました。各自の想いや得意がはっきりしていたので、スムーズに分かれることができました。その後、各部で内容や方向性を話し合いました。運営部・広報部と分かれましたが、一つの実行委員会として連携を大切にし、JBを作り上げていきます！

→次回実行委員会は、2/23～25 いよいよ岐阜で開催！